

河内長野ラグビースポーツ少年団 感染防止対策マニュアル

(令和2年6月6日策定)

【練習前の対策】

1. 団員、保護者は練習参加前に下記の健康チェックを必須とする
 - 発熱、せき、のどの痛み等の症状がある
 - 体のだるさや息苦しさがある
 - 味覚異常や嗅覚以上がある
 - 同居者や身近な人に上記症状を訴える方がいる
 - 2週間以内にコロナウイルスに感染、感染の疑いのある人と接触している

チェック項目に1つでも該当すれば練習に参加することはできない。

2. 移動は他家族と自動車の相乗りをできるだけ避ける
3. 練習場所まで移動する間は必ずマスクを着用する
4. 各団員のカバンは間隔を空けて置く(1m以上) ※休憩時の密を避けるため
5. 指導員からの集合合図まで団員間の接触はできるだけ避ける
6. 手指消毒か石鹸を使用し手洗いする

【見学中の保護者に対する対策】

1. 見学中は必ずマスクを着用する
2. 保護者間には間隔を空けて見学する(1m以上)
3. 他保護者や指導員と会話する場合は対面を避ける(横並びなど)

【練習中における対策】

1. 各学年か2学年ごとにグループ分けし、各グループはできるだけ離れて練習する
2. グループ間で練習用具の共有はしない
3. 練習用具は一定時間で交換または消毒(洗浄)する
4. 休憩は他グループと時間をずらす
5. 休憩に入る際は、必ず手指消毒か石鹸を使用し手洗いする
6. 団員同士の密を避けるため休憩は短時間とする
7. ウォーターボトルやタオルなど共用・使いまわしの禁止
8. 練習メニューは接触・密を避けることを基本とし、下記の事項を徹底する

<禁止事項>

- ・タックル、ラック、モール、スクラムなど濃厚に接触となるもの
- ・コンタクトバッグ、タックルバッグの使用

<注意事項>

- ・団員間が近距離で対面しないようにする
- ・順番待機中が密となる練習メニューは避ける

【練習後における対策】

1. 手指消毒か石鹼を使用し手洗いする
2. 速やかにマスクを着用する
3. 練習用具を消毒(洗浄)する
4. 団員間、保護者間の密接を避けるため、速やかに解散する
5. 団員の体調チェックを行う
6. 帰宅後は、できるだけ早くシャワー(風呂)を浴びる

【感染者が出た場合の対応】

1. 団員や保護者は感染が判明した場合、必ずただちに事務局へ連絡する
2. 関係者で情報共有し、緊急に対策を取る
3. 行政機関、その他関係機関へ連絡し指示を仰ぐ

【参考】

・消毒

次亜塩素酸ナトリウム液(濃度 0.05%)かアルコール(濃度 70～83%)を使用

※人体、金属に次亜塩素酸ナトリウム液の使用は禁止

・洗浄、手洗い

石鹼やハンドソープで10秒以上もみ洗いし15秒以上の流水すすぎ

・本マニュアルは、厚生労働省、日本ラグビーフットボール協会発表の資料を基に作成

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614437.pdf>

<https://www.rugby-japan.jp/news/50486>